

# 受けて安心 受けて健康 健康診査・がん検診

## あなたが受診できる健診を確認しましょう

加入している健康保険の種類や年齢で、受診できる健康診査が異なります。対象者には5月下旬に受診券を送付します。詳細は広報おわりあさひ6月1日号と同時配布予定の「健康診査のお知らせ」でご確認ください。



保険の種類	対象年齢	基本的な健診の種類	各種がん検診 (子宮頸がん検診を除く)	子宮頸がん検診 (隔年女性)
市国民健康保険	20～29歳	-	-	○
	30～39歳	生活習慣病予防健診 (短期人間ドック)	-	○
	40～74歳	特定健康診査	○	○
後期高齢者医療	75歳以上 (一定の障がいがあると認定された65歳以上のかたを含む)	後期高齢者医療 健康診査	○	○
上記以外の保険	20～39歳	医療保険者にご確認ください	-	○
	40～74歳	医療保険者が実施する 特定健康診査	○	○

※市では職場などで健康診査を受ける機会がない18～39歳のかたを対象に「ヤング健診」を実施します(9月下旬～10月上旬予定)。詳細は広報おわりあさひ8月15日号でお知らせします。

## がん検診(無料クーポン)のお知らせ 問い合わせ先/保健福祉センター内健康課 TEL.55-6800

検診の種類と対象者は、右表のとおりです。

**検診期間** 6月1日(木)～11月30日(木)  
(実施医療機関の休診日を除く)

対象のかたには5月下旬に「検診無料クーポン券」を送付します。この機会にぜひ検診を受けてください。

検診の種類	対象者
子宮頸がん	平成8年4月2日～9年4月1日生まれの女性
乳がん	昭和51年4月2日～52年4月1日生まれの女性

## 精度の高い検診を

市の検診は、瀬戸旭医師会により精度の高い検診が行われており、がん検診の精度に関する指標(がん発見率など)は、国・県と比較して高くなっています。

なお、より精度の高い検診を実施するために、市の健康診査や精密検査(対象者のみ)の結果は、個人情報の保護に十分配慮した上、市で管理しています。皆様のご理解をお願いします。



# 市国民健康保険加入の40～74歳のかた

## 市国民健康保険 特定健康診査・特定保健指導

問い合わせ先／市役所保険医療課国保庶務係 TEL.76-8150

メタボリックシンドロームや高血圧・糖尿病などの生活習慣病を早い段階で見つけるための大切な健診です。

### 特定健康診査・特定保健指導の流れ

1 5月下旬に受診券が届く

2 6月から実施医療機関で特定健診を受診

3 受診した医療機関で健診結果の説明などを受ける

#### 特定健診の検査項目

基本的な項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>▼質問票(服薬歴、喫煙歴など)</li> <li>▼身体計測(身長、体重、BMI、腹囲) ▼血圧測定</li> <li>▼理学的検査(身体診察) ▼検尿(尿糖、尿タンパク)</li> <li>▼血液検査               <ul style="list-style-type: none"> <li>・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール)</li> <li>・血糖検査(空腹時血糖またはHbA1c)</li> <li>・肝機能検査(GOT、GPT、γ-GTP)</li> </ul> </li> </ul>
詳細な健診の項目	一定の基準の下、医師が必要と認めた場合に実施 ▼心電図 ▼眼底検査 ▼貧血検査(赤血球、血色素量、ヘマトクリット値)

※市国民健康保険では上記「基本的な項目」の血液検査項目に加え、クレアチニン・尿酸・貧血検査(詳細な健診と同じ内容)を実施

4 健診結果により、特に生活習慣改善による効果が期待できるかたに対し、「特定保健指導」を実施。受診した医療機関から案内がありますので、お申し込みください

**特定保健指導**  
**動機づけ支援**／健診を受けた医療機関で実施  
**積極的支援**／保健福祉センター内健康課で実施

### 定期的に病院で受診・検査をしているかたへ

病院にかかっているかたも、特定健診の対象となりますので受診してください。

### 職場などで健診を受けるかたへ

市国民健康保険に加入しているかたのうち、職場の健診などを受ける場合は、上記検査項目の「基本的な項目」を満たした健診結果(コピー可)を提出すれば、特定健診を受ける必要はありません。

# 後期高齢者医療被保険者のかた

## 後期高齢者医療健康診査

問い合わせ先／市役所保険医療課高齢者医療係 TEL.76-8153

糖尿病などの生活習慣病を早期に発見し、重症化を予防するため、血圧測定、血液検査、尿検査などを実施します。ただし、普段から医療機関などを受診し、健康状態を把握しているかたは、必ずしも受診する必要はありません。



健診期間は6～10月です。9・10月は非常に混み合いますので、8月までの受診をお勧めします。